

## ■第 11 回神戸市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

【開催日時】 令和 6 年 3 月 27 日（水） 10:00～12:00

【開催場所】 三宮研修センター 6 階 605 会議室

【出席者】 委員 25 名（欠席 11 名）

【議事（主な意見交換の内容）】

### 議事（1）地域間幹線系統補助に伴う神戸市地域公共交通計画の変更

<事務局より、資料 3 と 4 について説明>

○武庫川女子大学 水野委員

計画へ新たに 3 つ数値目標を設定するということだが、それぞれの数値について近年の動向はどうだったか？

○事務局

過去すべて追えているわけではないが、近年でいうと、まず「補助対象路線の 1 日あたりの実績輸送量」については、国の補助基準を目標値としているが、これまでもこの数値を下回ってないものと認識している。また、「補助対象路線の収支率」について、5 年度は 50%を超えており、これまでも基準値を超えているものと認識している。

「補助対象路線の経費に対する自治体負担額」については、年々増えているといった状況であるが、今後利用促進などを進めることにより現在の額を超えないようにしたいと考えている。

### 議事（2）神戸市地域公共交通計画の進捗

<事務局より、資料 5 と 6 について説明>

<各交通事業者より、資料 7 と 8 について説明>

○神戸タクシー 松本委員

新しいバスターミナルは、JR 三ノ宮駅のタクシー乗り場から距離がある。新しいバスターミナルの中にはタクシーの乗降場所は設置してもらえるのか。

○都心三宮再整備課 飯塚委員

雲井通 5 丁目の再開発については、JR 三ノ宮駅の南側にあったロータリーのようなものは設置予定ではないが、地下 2 階に乗降スペースができる。待機スペースはないが、バスターミナル利用者がタクシーを呼んだり、他の場所からタクシーでバスターミナルに来るといったことは可能である。また、バスターミナルは 1 期、2 期と段階的に整備していくが、中長距離バスの降車便は最終的にミント神戸へ集約されていく。JR の駅ビルが建設され、今の 1 階部分東側には改めてまたロータリーができることになり、従前と同じようなタクシープールなどの乗降スペースができるので、中長距離バスを利用する方がタクシーを利用する際乗り継ぎしやすいと考えている。

## 議事（２）神戸市地域公共交通計画の進捗

<事務局より、資料9について説明>

## 議事（３）市民WEBアンケート結果の報告

<事務局より、資料10について説明>

○武庫川女子大学 水野委員

数値目標のうち、市民満足度が5%減った点について、資料10のWEBアンケート調査報告書12ページにあるように区ごとに満足度が異なるというのは当然の結果であるが、区別に経年的に比較した場合にも市全体の満足度と同様の傾向があるのかを確認してはどうか。17ページのまとめで施策認知度と満足度が相関関係だということもあったが、施策が進んでいる区では実は満足度が上がっているなどの傾向はみられるか。

○事務局

居住区別の満足度を経年で比較してみると、要因までは追えていないものの、兵庫区が昨年度と比較して満足度が下がっているという結果が確認できている。ただ、都心三宮再整備は施策認知度が上がっているという結果が出たが、該当する中央区で毎年満足度が順調に上がっているというわけでもない。今後のアンケートにおいて、なぜ満足度が低下しているのか、上げるためにはどうすればよいかを確認できるよう、質問の項目を検討したい。

○神戸大学 正司委員

資料10の6ページ、代表交通手段の経年変化をみると、R5の「徒歩」が減っているようだが、天候の影響はあるのか。

○事務局

アンケート調査は毎年雨ではない日の行動を調査できるように調整しているため、天候の影響はあまり出ていないと考えている。サンプル回収数は神戸市の各年代別人口に合うように設定しており、各区別人口は考慮していない。今回の調査では偶発的に西区の回答者が多くなっており、自動車が増えて徒歩が減ったという結果になったのではと考えている。アンケートを実施する際のサンプルの取り方については、今後の検討課題としたい。

○神戸大学 正司委員

年齢層は人口比率に合わせているが、区別にはしておらず、公共交通利便性がエリアごとに異なるので、それが結果に影響している可能性があるということか。

○事務局

そのとおりである。

○武庫川女子大学 水野委員

資料 10 の 13 ページ、14 ページで改善してほしい点を聞いているが、満足・不満足を含め、どういった属性の人がどう回答しているかが見えるとよりよいと感じた。例えば公共交通機関を使いこなしている人と、自動車の利用がメインで公共交通機関を使い慣れていない人とで、公共交通機関に対して感じるハードルも異なると思われる。回答者の年齢層やライフスタイルといった点が見えると非常に有益になると思うので、今後検討いただければと思う。

○事務局

先ほどのご指摘のようにアンケートの取り方については来年度以降考えていきたい。例えば「乗り継ぎを便利にしてほしい」という意見の中に、ハード的な話であるのか、それともダイヤ調整といったソフト的な話なのかが区別できずどちらともとれてしまうといったところもあったため、改善に向けて検討したい。

議事（４）神戸市地域公共交通活性化WGの報告

＜山陽バス田中氏・神姫バス佐藤氏より、資料 11 と 12 について説明＞

○交通局 児玉委員

資料 12 「バスのりば」案内共通ルールの正式版には、具体的な表記イメージを現場に落とし込んだ場合の図等は記載されているのか。また、この抜粋版もしくは正式版は、何らかの形で公開されるのか。

○神姫バス 佐藤氏

具体的にどういう形に落とししていくかはこれから議論を進める。また、このルールに基づいて各事業者のバス停にどのような形で反映させるのかというのも、来年度上期中に議論していきたい。

公表についてはもう少し議論が必要だが、乗り場の番号が変わるところにもなるため、早い段階で公開をさせていただき、新しい番号が浸透するように進めていきたい。

○交通局 児玉委員

交通局でも 4 月より、市内の各交差点にある停留所に ABCD などのアルファベットを用いてバス停標柱にサインをつけていくことを始める。ワーキンググループでの議論と歩調を合わせて整備を行っていきたいと考えているので、今後も情報共有をお願いしたい。